

— 第35号 —

平成25年5月8日発行

ちく せい 筑西

市議会だより

編集 筑西市議会広報委員会 / 発行 筑西市議会



音楽リズム保育発表会（暁保育園）



ごぎょう川、桜の下でヨーイドン（はぐろ保育園）



夢・希望・ジャンプ（川島第二保育園）



お遊戯会 合奏発表（明野保育園）

目次

- 議決一覧表..... 2～3 ページ
- 予算特別委員会の審査から... 4 ページ
- 第一回臨時会..... 4 ページ
- 議案質疑..... 5 ページ
- 一般質問..... 6～11 ページ
- 議会日誌..... 12 ページ
- 編集後記..... 12 ページ

平成25年第1回定例会は、2月27日から3月13日までの15日間の会期で開催され、一般会計補正予算、条例案など38案件について慎重に審議されました。一般会計予算は**修正議決**されました。

また、第1回臨時会は2月20日に開催され、一般会計補正予算が**継続審査**とされました。

■主な内容■

平成25年第1回定例会

（平成25年度予算決まる）

総額679億5,054万余円

（一般会計375億円）

平成25年第1回臨時会議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結果
議案第1号	平成24年度筑西市一般会計補正予算(第9号)	歳入歳出に177万余円を追加するもの。新中核病院建設に関する基本構想及び基本計画の策定委託料	2.20 継続審査

平成25年第1回定例会議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結果
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	任期満了により茨城県後期高齢者医療広域連合議会の議員を選出するもの	2.27 当選人決定
	議員の辞職について	須藤 茂議員の辞職願いの許可についてはかるもの	3.1 許可
議案第1号	平成24年度筑西市一般会計補正予算(第9号)	第1回臨時会議案と同一	3.13 継続審査
議案第2号	市道路線の廃止について	下館地区1路線、明野地区1路線の2路線を廃止するもの	3.13 原案可決
議案第3号	市道路線の認定について	下館地区における寄附及び認定漏れによる2路線を認定するもの	3.13 原案可決
議案第4号	平成24年度筑西市一般会計補正予算(第10号)	歳入歳出にそれぞれ44億5,435万円を追加するもの。主な内容は、小学校耐震化事業など	3.13 原案可決
議案第5号	平成24年度筑西市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	被保険者療養給付費等を増額し、出産育児一時金等を減額するもの	3.13 原案可決
議案第6号	平成24年度筑西市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	後期高齢者医療保険料納付金を2,000万円増額するもの	3.13 原案可決
議案第7号	平成24年度筑西市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	水処理センターの改築工事費を増額するもの	3.13 原案可決
議案第8号	平成24年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	墓地移転業務委託料、擁壁工事費などを減額するもの	3.13 原案可決
議案第9号	平成24年度筑西市介護保険特別会計補正予算(第3号)	居宅介護サービス給付費の増額、地域密着型介護サービス給付費の減額などを行うもの	3.13 原案可決
議案第10号	平成24年度筑西市水道事業会計補正予算(第3号)	消火栓補修に伴う負担金、下水道工事に伴う水道排水管移設工事負担金の増額などを行うもの	3.13 原案可決
議案第11号	筑西市情報公開条例等の一部改正について	国有林野事業が国営企業でなくなることから、条例の規定から削除するため改正するもの	3.13 原案可決
議案第12号	筑西市特別職の職にある者で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	墓地検討委員会等の委員長及び委員の報酬の追加をするため条例を改正するもの	3.13 原案可決
議案第13号	筑西市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の一部改正について	現給保障の段階的廃止等をするため条例の改正をするもの	3.13 原案可決
議案第14号	協和釣り堀公園条例の廃止について	協和釣り堀公園を廃止するため、条例を廃止するもの	3.13 原案可決
議案第15号	筑西市国民健康保険条例の一部改正について	国民健康保険運営協議会の委員から被用者保険等保険者を代表する委員を削除するもの	3.13 原案可決
議案第16号	筑西市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について	新型インフルエンザ等緊急事態宣言がされた際に設置される対策本部について必要な事項を定めるもの	3.13 原案可決

平成25年第1回定例会議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結果
議案第17号	筑西市障害者介護給付等審査会条例の一部改正について	障害者自立支援法の題名が改正されることに伴い条例を改正するもの	3.13 原案可決
議案第18号	筑西市中小企業事業資金融資あっせん条例の一部改正について	自治金融が融資あっせんできる最高限度額が1千万円、保証期間が7年間とされたもの	3.13 原案可決
議案第19号	筑西市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定について	市道の新設、改築する場合の市道の構造の技術的基準及び道路標識の寸法を定めるもの	3.13 原案可決
議案第20号	筑西市道の移動等円滑化に関する基準を定める条例の制定について	高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な道路の構造に関する基準を定めるもの	3.13 原案可決
議案第21号	筑西市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例の制定について	準用河川に係る河川管理施設等の構造について技術的基準を定めるもの	3.13 原案可決
議案第22号	筑西市営住宅条例の制定について	市営住宅の共同施設整備基準及び低額所得者の収入基準並びに東日本大震災による被災者及び福島原子力災害による入居特例を定めるもの	3.13 原案可決
議案第23号	筑西市都市公園条例の一部改正について	都市公園の配置及び規模に関する技術的基準並びに建築物の面積割合の基準を定めるもの	3.13 原案可決
議案第24号	筑西市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について	高齢者、障害者等の移動等の円滑化のために必要な特定公園施設の基準を定めるもの	3.13 原案可決
議案第25号	筑西市公共下水道の構造の技術上の基準等に関する条例の制定について	公共下水道の構造及び維持管理の技術上の基準並びに終末処理場の維持管理に関する基準を定めるもの	3.13 原案可決
議案第26号	平成25年度筑西市一般会計予算	平成25年度の一般会計予算375億円を定めるもの	3.13 修正議決
議案第27号	平成25年度筑西市国民健康保険特別会計予算	平成25年度の国民健康保険特別会計予算124億2,312万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第28号	平成25年度筑西市後期高齢者医療特別会計予算	平成25年度の後期高齢者医療特別会計予算17億6,915万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第29号	平成25年度筑西市公共下水道事業特別会計予算	平成25年度の公共下水道事業特別会計予算23億6,365万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第30号	平成25年度筑西市農業集落排水事業特別会計予算	平成25年度の農業集落排水事業特別会計予算6億9,299万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第31号	平成25年度筑西市下館結城都市計画事業八丁台土地区画整理事業特別会計予算	平成25年度の八丁台土地区画整理事業特別会計予算3億9,772万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第32号	平成25年度筑西市駐車場事業特別会計予算	平成25年度の駐車場事業特別会計予算3,308万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第33号	平成25年度筑西市介護保険特別会計予算	平成25年度の介護保険特別会計予算75億3,864万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第34号	平成25年度筑西市介護サービス事業特別会計予算	平成25年度の介護サービス事業特別会計予算6,616万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第35号	平成25年度筑西市水道事業会計予算	平成25年度の水道事業会計予算32億5,853万余円を定めるもの	3.13 原案可決
議案第36号	平成25年度筑西市病院事業会計予算	平成25年度の病院事業会計予算18億1,163万余円を定めるもの	3.13 原案可決

【請願】

請願第1号	旧下館市内の甲・乙・丙の町名に「下館」と通称町名を加える請願	下館旧市内の甲・乙・丙に「下館」と通称町名を加える住所の表示にしよう求めるもの	3.13 採択
-------	--------------------------------	---	------------

予算特別委員会の 審査から

予算特別委員会は、3月8日、11日の2日間開かれ、平成25年度的一般会計、特別会計及び企業会計予算を審査し、一般会計予算の修正案が提出されました。13日の本会議において修正案が可決されました。

委員会での主な審査の内容は次のとおりです。

- ▽復興まちづくり特例交付金、人口減少対策、各種事業の見直しについて
- ▽市長ほっとライン、筑西市の美しい水の有効活用について
- ▽本庁舎耐震補強工事、合併特例債を活用した新庁舎整備の考え方、市職員と臨時職員について
- ▽納税奨励金と過誤納還付金、コールセンターと茨城租税債権機構の活用状況について
- ▽きれいなまちづくり条例、住宅用太陽光発電システム補助、墓地台帳整備事業について
- ▽高齢者肺炎球菌個別接種、地域医療推進連携事業、成人検診事業とオプシヨン検査について
- ▽保育所整備と認定こども園、災害時要援護者対策事業、福祉相談窓口事業と生活保護について
- ▽新規就農者支援、住宅リフォーム助成、地籍調査事業について
- ▽道路の新設・維持、市営住宅維持、八丁台土地区画整理事業について
- ▽浄化槽設置補助、公共下水道資本平準

化債、基本使用料の見直しについて

▽学校図書館司書配置事業、学校問題解決支援事業、準要保護児童生徒就学援助事業、入学祝品支給事業、スポーツ施設の借地、教育委員会の開催について

▽寄附講座、市民病院の経営状況について

【予算特別委員会委員】

- ◎赤城 正徳 ○小島 信一
 - 保坂 直樹 田中 隆徳
 - 稲川 新二 大嶋 茂
 - 増淵 慎治 真次 洋行
 - 藤川 寧子 三浦 讓
 - 鈴木 聡
- (◎委員長 ○副委員長)

平成25年度予算

予算総額：679億5,054万9千円

		本年度予算額	前年度予算額	
一般会計		375億9,584万円	365億円	
特別会計	健康保険 高齢医療	124億2,312万6千円	122億2,070万7千円	
	後期高齢者医療	17億6,915万7千円	17億2,095万5千円	
	下水道事業	23億6,365万2千円	23億3,717万5千円	
	農業集落排水事業	6億9,299万1千円	7億209万1千円	
	八丁台土地区画整理事業	3億9,772万2千円	3億608万6千円	
	駐車場事業	3,308万4千円	3,236万8千円	
	介護保険	75億3,864万3千円	71億1,479万1千円	
	介護一業サ事	6,616万9千円	6,413万9千円	
	企業会計	水道事業	32億5,853万4千円	33億2,407万5千円
		病院事業	18億1,163万1千円	17億8,295万7千円

第1回臨時会

第一回臨時会が、2月20日に開かれ、新中核病院建設に関する基本構想・基本計画の策定経費を含む一般会計補正予算が審議されました。

福祉文教委員会に付託された、「桜川市との協議を先にすべき」「場所を決めてから基本構想は作るべき」などの意見から、慎重な審議を求める**継続審査**と決定しました。

第一回定例会審議について

第一回定例会では二つの大きな議案がありました。その内容についてお知らせします。

【新中核病院建設関係議案】

第一回臨時会で継続審査となっていた新中核病院建設に関する基本構想・基本計画の策定経費については、桜川市・県・医師会との話し合いが進んでいないこともあり、第一回定例会においても**継続審査**とされました。

【本庁舎耐震対策事業予算】

一般会計予算の本庁舎の耐震対策事業費5億416万円について、「人命尊重のためには耐震化されたスピカビルに早急に移転すべき」、「緊急であればなぜ2年計画で耐震化するのか」等の反対意見、「市民の安心安全を確保するには本庁舎の耐震化を早急にすべき」等の賛成意見がありました。一般会計予算から本庁舎耐震対策費を削除した**修正案**を賛成多数で可決しました。

議案質疑

全議案に対する質疑は、3月6日に行われ、4人の議員が24項目に及ぶ質疑をしました。その主なものは次のとおりです。

議案第36号

市民病院の運営方針について

【議員】市民病院の現状について尋ねたい。

【市民病院事務部長】平成24年度（1月まで）の入院患者数は1万1,365人、1日平均37人（運用病床数50床）。外来患者数は4万8,456人、1日平均235人である。震災の影響もあるが患者数は回復傾向にある。

【議員】医師の確保状況はどうか。

【市民病院事務部長】平成25年度は寄附講座として今年度同様の診療を見込んでいる。

【議員】新中核病院の開院は最短期間で平成28年度となろう。その間、現在の市民病院でどのように対応して行くつもりか。

【市長】市民病院は、地域に根差した1次・2次救急医療機関として大きな役割がある。そのために

も医療の確保等は喫緊の課題であり、さまざまな方策を検討してまいりたい。

議案第4号・26号

財政状況の見通しについて

【議員】市の財政状況について尋ねたい。平成24年度末の基金残高は幾らあるのか。

【企画部長】財政調整基金が約47億6千万円、減債基金が約26億7千万円と見込んでいる。しかし、平成25年度当初予算で10億8千万円の財政調整基金の取り崩しを予定しているため、残高は36億8千万円となる。今後の新中核病院整備等もあり、可能な限り基金に積み立ててまいりたい。

【議員】合併後10年間地方交付税を全額保障してきた合併算定替の期限が平成26年度で終了し、平成27年度から5年間で交付税が徐々に削減されていく。今後は地域の

活性化にも配慮したバランスの取れた財政運営、行政運営への工夫、合併算定替の期間延長要望等が必要なのではないか。

【企画部長】経過措置が終了する平成32年度には約20億円の地方交付税の削減が見込まれる。また、公債費（借入金）の返還は平成28年度がピークと見込んでおり、十分検討してまいりたい。

議案第4号

学校耐震化事業について

【議員】今回、地方債の変更として小中学校の耐震補強工事が計上されているが、その理由は何か。

【教育次長】国の緊急経済対策として平成25年度事業予算が前倒しされたもの。これにより、大田小、五所小、下館小、関城東小、下館中の校舎と大村小屋内運動場、協和と武道場の耐震補強・大規模改造工事の早期着工が可能となった。

【議員】全小中学校の耐震補強工事の完了時期は平成27年度となっているが、この前倒しにより今後の計画も早まるのか。

【教育次長】今回の措置は、平成25年度分の耐震補強事業が早期に着工できたものであり、平成26年度以降の事業は予定どおり変わらない。

市民アンケート調査 特別委員会報告書

平成25年2月27日に「市民アンケート調査特別委員会（赤城正徳委員長）」の報告書が提出されました。

【委員会の目的】

市民アンケートに記載されている新庁舎建設に係る建設費用及び現本庁舎のスピカビル移転に伴う改修・移転費用等の問題について調査する。

【委員会の経緯】

市民アンケート調査の問題点や疑問点が解明されないため、特別委員会を設置し、9回の会議を開催した。

【本委員会の調査結果】

○市民アンケートの調査書に、市民に誤解を与える表現があったが、執行側は強硬に実施した。また、アンケート送付後調査対象者3千人に督促まがいのハガキを送付するなど手法に疑問が残る。

○今後、公共施設のあり方指針が策定されるが、議会として監視機能を果たしていく。

○本庁舎の整備方針については別途調査検討が必要。

一 般 質 問

市政全般の課題や問題をただす一般質問は、3月1日、4日、5日に行われ、16人の議員が82項目に及ぶ質問をしました。その主なものは次のとおりです。

新中核病院に関する協議について



【須藤議員】昨年8月から、市長は議員や地域医療を担う医師会に

何の相談もなく協和中央病院との協議を始めた。議会無視であり、独裁的な手法は誠に残念である。その結果この7カ月何の進展もみられない。今回、県の指導で本市と協和中央病院の協議に桜川市が加わる計画を進めると言うが、桜川市は竹島地区を建設候補地から外す条件で協議に入ると聞く。この条件は到底受け入れられるものではないがどう考えるか。また、協和中央病院からはどのような条件が提示されているのか伺いたい。【市長】新中核病院建設に関し、県から、①桜川市も入った三者で建設する。②医師会の理解を得るよう県が責任を持って取り組む。



③場所について、竹島にこだわらないとしてもらいたい。の3条件が提示された。公立2病院の再編統合を目指していた時に、建設準備委員会において、建設場所は竹島とされた経緯があり、本市としては、竹島地区を考えているが、2月の桜川市の全員協議会において、竹島地区では納得していない。また、協和中央病院からは、医療法人として関連施設とのかかわり合いから、現在の病院周辺への新中核病院建設が強く要望されている。地域医療再生への理念は一致しているが、場所や病院の機能等、持続可能な運営方法を導くためにも、一刻も早く協議を開始していきたいと考えている。

下館地区の住所の表示について

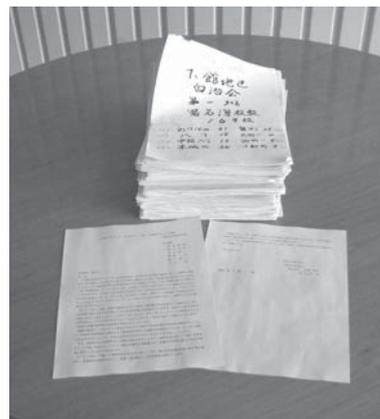


【外山議員】今定例会には、下館地区の甲・乙・丙の住所の表示に

ついて、下館地区自治会の皆様と商工会議所から請願がなされている。合併して8年になるが、現在の甲・乙・丙では、全くわからない。「下館」という地名は何百年も続いている地名である。「下館」という歴史ある名前を通称名の前に持ってきて、これを復活させてはどうか。ただ、当時の合併協議会が1市3町は対等であるということから、古い名称は使わないとした経緯がある。しかし、合併当時の取り決めで不便や不合理なことが起きているのも事実である。ぜひとも、直すべきところは勇気をもって直していただきたい。いかがか。

【市長】今回の請願には、地方自治法の規定により、町、字の区域と名称の変更を行い、現在の通称名称を住所の表示に使用したい旨が記されている。しかし、この手法では地番がばらばらに入り組んでいる状態は解消されない。今後、地番整理など別の手法を実施することもあわせて、慎重に検討して

いきたい。また、「下館」の名称を使用することについても、合併時に旧地区の名称を使用しないと決めた経緯を踏まえて、町名の変更とあわせて検討してまいりたい。



請願書・署名簿 (9,024名)

指名競争入札について



【鈴木議員】契約について以前は500万円までは指名競争入札で、

それ以上のものは電子入札ということをやってきた。しかし、市長が当選してからは指名競争入札を1,000万円に引き上げた。そこで指名を受けられない業者が出てきているという。指名業者を各課から市長に伺いを立てるわけだが、市長の権限で業者を選定してしまう。それほどまでに市長の権限は大きいのだ。各課から上がっ

てきた名簿に市長はこれでよいとやっていくのが普通である。やはり市民に公平で公正な行政を行うべきである。市長の業者後援会、筑山会へ加入したかしないかで指名は左右されるのか伺いたい。

【市長】入札の業者指名選定については、筑西市競争入札参加業者指名選定委員会設置要綱に基づき委員会において適正に行われている。今後とも多くの方に入札参加の機会が与えられるよう努めていきたい。筑山会につきましては政治活動団体であり、指名には一切関係ございません。

【鈴木議員】自由競争を促すためにも、指名の限度額をもっと下げて、指名競争入札というのは事実上やめてはいかがか。

【総務部長】平成20年度から電子による一般競争入札は基準額を2,500万円から1,000万円に引き下げて実施してきた。それ未満は指名競争入札で実施しているもので、ご理解願いたい。



空き家対策について



【保坂議員】管理不全の空き家は今どのくらいあるのか。

【市民環境部長】1月31日現在で一戸建てで227戸。共同住宅で13戸である。

【保坂議員】きれいなまちづくり条例により、空き家に対しては催告、命令、公表するようだ。公表はどのような方法で行うのか。

【市民環境部長】個人の場合は命令に従わない者の氏名を市の掲示板に掲載する。事業者については掲示板のほか市の広報紙に掲載し、公表したいと考えている。

【保坂議員】公表だけで、空き家対策になると考えるのか。

【市民環境部長】空き家は所有者の財産であるので、慎重に対応していきたい。

【保坂議員】財産権は、公共の福祉に反しない限り守られるもので、管理不全の空き家に対しては適用されないとかがいかがか。

【市民環境部長】老朽した空き家が崩れそうで、隣家に被害を及ぼすというだけでは公共の福祉に反したとは言えず、行政代執行には当たらないという見解もある。財

産権の問題もあるので、大変苦慮しているところである。

【保坂議員】個人情報公表するのは公共の福祉に反するからであり、それを考えるなら代執行を行う必要性もあると思うが。

【市民環境部長】あくまでも公表までには段階を踏んで進めていく。プライバシーの観点からも慎重に扱ってまいりたい。



各種申請書の受付出張サービスについて



【田中議員】地域を歩くとき、報道されているように高齢者が進んでいる。しかも、足腰が弱り、歩行

さえままならないお年寄りがふえている。本市では、交通弱者や高齢者に対するサービスとして、デマンドタクシーの利用促進が図られている。しかし、市役所に各種申請書を提出しようとしても、書き方がわからない、市役所のどこに出してよいかわからない、また用事が一回で済まないとい

た声を聞く。そこで、戦後、奇跡の復興とまで言われ、この豊かな社会を築きあげてくれた高齢者や、さらに足腰の不自由な方々に対して、行政側から出向いて説明や受け付けのサービスができないか伺いたい。

【総務部長】現在、本市では郵送で戸籍や税証明等の請求を受け付け、交付しているが、受け付けを出張して行うサービスは行っていない。全国では、高齢者を対象にご自宅等まで訪問し、証明書等を交付するサービスを試行的に実施している自治体が数市ある。いづれにしても、市役所の受け付け業務は法令上、本人申請主義が多い。受け付け出張サービスを検討するに当たっては、関係課所が多数になることや人員と費用がかかることから、今後、全国の事例を調査し、事務改善委員会等で検討を考えてまいります。



市民課窓口

住所の表示（甲乙丙番地の町名変更）について



【大嶋議員】今定例会

に、下館地区自治会と下館商工会議所の連署により請願書が提出された。平成6年以降、4人の議員が一般質問し、平成22年と昨年のタウンミーティングでも質問がでていた。この件については、旧下館市内の26の自治会で甲・乙・丙の住所の表示を使っている、わかりにくく、住民がたいへん困っている。今回の請願は、現在使用している通称町名の稲荷町、大町、本城町などを大字名としていただきたい内容の要望である。どのように考えているか。

【総務部長】請願は、地方自治法の規定に基づく、町、字の区域と名称の変更を要望している。この手法が現時点で最も現実的な選択だと思う。しかし、地番がばらばらに入り組んでいる状況の解消にはならないことから、地番整理等の手法をあわせて実施する必要があると考えている。また、区域内の土地に関する資料の不足、地籍調査が未実施であることから、実現までには相当の時間と経費が必要になる。また、変更後には住民の

負担が発生することも想定される。【大嶋議員】今後、関係者と行政との検討会等を立ち上げる必要があると考えるがいかがか。【総務部長】何らかの形で検討会等の会議は立ち上げていかなければならないと考えている。



表示板

新中核病院の建設について



【加茂議員】県の調整

案に、竹島に建設場所はこだわらないとしてもらいたいとあるが、場所について市の考えを伺いたい。

【市長】協和中央病院と筑西市との協議に桜川市の参画を促すものであるが、筑西市としては、竹島という意見を持って協議に参加することに変わりはない。

【加茂議員】病床数が300床と云われてきたが、新たに600床との話がある。どのような配分か。【市長】県の真壁医師会への説明では、現在の671床を1割削減し、新中核病院、県西総合病院及

び筑西市民病院で全体として約600床が、3病院の再編統合後の許可病床の確保数となる。この病床数が適正に配置されるものと考えている。

【加茂議員】先日、共産党市議団が厚生労働省を訪問し、担当者から、「地域に医療過疎の改善効果があるように考えており、期限の延長を財務省に要望する考え」との話を聞き、地域の切実な思いを受け止めていると感じた。市は医師会、関係者等との合意不十分のまま建設を急ぐ前に期限延長を国に要望すべきではないか。

【審議監】今回、平成25年度中に、実施設計の完了をもって着工とみなすとされたため、期限の延長を国に働きかけられるよう、基本構想、基本計画の策定作業に努力してまいりたい。



市長の政治姿勢について



【小島議員】市民アンケートの結果、市民は公共投資に慎重であつ

た。本庁舎耐震補強は、市民の支持を得ている。しかし、議会では批判的な意見がある。その最大の理由は、スピカビル売却に反対、同時に3支所への分庁化反対である。市長が、この二つを明確に撤回すれば、本庁舎耐震補強の環境は整うのではないか。

【市長】スピカビルの利活用と本庁舎耐震補強は切り離して対応しなければならぬ。前者は、改めて検討していきたい。

【小島議員】今後も3支所への分庁化を考えているようだが、市民アンケートの中で支所の整備を求める割合は10%未満だった。民意を尊重するならば、3支所への分庁方針を撤回すべきと思うが。

【市長】関城支所は耐震基準に合致し問題ない。協和支所は必要最小限で整備することとなった。明野支所は費用対効果を考慮して、耐震補強を見送った。これら3支所への分散は、今後再検討する。

【小島議員】将来、本庁舎の建てかえの時期はいずれ来る。その将来の移転先を南部とする構想は、今も持っているか。

【市長】本庁舎の環境として交通アクセスは非常に重要である。筑西幹線道路は、将来の本市の発展を導くと認識している。安価な土

地が取得できる南部は有力と考えている。



市役所本庁舎

新中核病院の建設 期限について



【三浦議員】全国最低レベルのこの医療圏の再生に新中核病院建設を進めているが、無理なスケジュールではないか。

【審議監】基本構想、基本計画の策定に11カ月、基本設計、実施設計に約1年必要であり、交付金の活用期限とする平成25年度末までの実施設計の完了は非常に難しい。

【三浦議員】建設推進会議で場所を決定するのも難しいのではないか。

【審議監】3者の協議を促すためにも竹島にこだわらないとされた。今後、大局的な見地から建設推進会議で協議をしてみたい。

【三浦議員】地域完結型の医療再生には600床必要と言われるが、どのように考えるか。

【審議監】この医療圏に600床が必要かの検証も含め、基本構想、基本計画策定の中で各病院の必要病床数を検討していくことになる。

【三浦議員】協和中央病院との統合には財産の処分の問題があり非常に難しいと考えるがいかがか。

【市長】県からの調整案も示されており、最善の方策との思いで取り組んでいる。

【三浦議員】広い目で枠組みを考えるためにも期限の延長を国に働きかけなくてはならない。どのように取り組んでいくつもりか。

【市長】この地域の医療再生の形を整えるのが先決であり、国に期限の延長を働きかけるためにも一刻も早く協議できるようにお願いしたい。



北関東自動車道のスマート インターチェンジ設置について



【真次議員】以前の議会で質問したが、北関東自動車道にスマートインターチェンジが設置できないか。本市にはイチゴやこだまスイカそして関城の梨など全国に誇

れる農産物がある。それらを北関東自動車道から日立港や茨城空港を利用することで神戸や北海道、韓国までも運ぶことができる。大政山トンネルを過ぎたあたりまでは、県道が整備されており、取り付け道路は国土交通省が施工できるのではないか。

【土木部長】平成23年度に佐野スマートインターチェンジが設置された。佐野工業団地や観光施設があり、ネクスコ東日本が設置し、栃木県と佐野市はアクセス道路の事業費負担だけであった。しかし、議員ご指摘の場所は、周辺の環境から考えてネクスコ東日本が優先設置することは考えられない。

【真次議員】周辺道路は十分整備されていると考える。地域発展のためにも設置を念頭に、真岡市や県と協議会を立ち上げ計画を策定していただきたい。

【土木部長】現在の県道や市道を利用して簡単にインターチェンジ



スマートインターチェンジ

を設置することはできず、莫大な予算が必要になると考えている。

【市長】協議会設立には真岡市の機運の高まりが不可欠であり、今後、見極めてまいりたい。

体罰の問題について



【稲川議員】県と市でそれぞれ体罰にかかわる児童生徒へのアンケートを実施しようだが、市のアンケートは名前を書いてもらわなくてもよいとされた。①無記名の場合、名前を書けない理由が秘められていると思うが、どう考えるか。また、対応はどうするのか。

②県の教育委員会と公安委員会が協定を結び、そして市教育委員会も協定を締結する報道があった。その協定内容及び市教育委員会や学校への影響について伺いたい。

【教育長】①記名で体罰を受けたと回答することは先生を訴えるというだけで、子供にとっては心が痛むこともある。しかし、事実を知ってほしい子もいるであろうというので、記名についてはどちらでもよいことにした。②協定についてはもともといじめ問題から始まったものである。いじめ問題で自殺にまで追い込まれてしまっ

た子がいる。未然に早く見つけるため、もつときめ細かく情報交換していこうということが、この協定の目的である。そのため、協定のタイトルにはじめ問題への的確な対応ということが付記されている。協定の狙いは①青少年の健全育成。②非行防止。③犯罪被害の予防だと思ふ。情報を共有して早期に健全育成を図るため、本市では4月の協定締結に向け素案を作成中である。



安心して暮らせる医療、福祉の充実について



【石島議員】救急体制の整備、救急車の出勤回数について伺いたい。また、初期の救急医療への夜間休日一次救急診療所や市民病院の対応について伺いたい。

【総務部長】3次医療機関との勉強会を実施し多くの職員が参加して、医師と救急隊員の顔の見える関係を構築している。医療ツールとしてドクターカーやドクターヘ

リコプターの要請もでき、重篤な傷病者の場合はいち早く医師の管理下に置くことを徹底している。また、救急車の出勤回数は平成24年中、出勤件数が3,880件、搬送件数が3,600件である。

【健康増進部長】夜間休日一次救急診療所では、夜間及び休日の診療を365日行っており、必要に応じて2次3次救急医療病院を紹介して医療体制の充実を図っている。

【市民病院事務部長】平成24年4月から、救急隊と病院の医師とのホットラインを開設し、迅速な救急隊への指導や受け入れの判断をすることが可能になった。

【石島議員】介護施設入所待機者の現状と対策について伺いたい。

【福祉部長】特別養護老人ホームへの入所待ちが多くなっている。真に入所が必要な方の把握に努めながら、介護保険料への影響額等を踏まえ、介護保険事業計画を策定し、介護サービスの基盤整備に努めてまいりたい。



スピカビルの有効活用について



【増淵議員】スピカビルを民間活用で再生するのは難しいのでは。

【市長公室長】下館都市開発(株)の運営で2回リニューアルしたが、うまくいかなかった。やはり、商業のプロに任せて、スピカビルの再生を図りたいと考えている。

【増淵議員】現実的には、商業での再生は難しく、本庁舎としての利活用を考えるべきではないか。

【市長】先のアンケートでは、35%の方が本庁舎のスピカビル移転に賛成したが、45%の方は本庁舎を耐震補強して使用すべきと回答している。

【増淵議員】スピカビルを本庁舎とできない問題点は何か。

【市長】職場環境からの職員の精神衛生上の問題と、立体駐車場の使い勝手の悪さが大きな問題だと考えている。

【増淵議員】職場環境には休憩時間や休憩室等の対応策がある。立体駐車場は他市にもあるが、ビルの営業に支障をきたした話は聞かないがどうか。

【市長】高齢者のドライバーから立体駐車場の使い勝手が悪いとの

ご意見を多く耳にしている。【増淵議員】スピカビル売却に伴い3支所を分庁舎にする考えだが、合併での行政コスト削減による行財政改革の本質を貫いていただきたいと考えるがどうか。



スピカビル

いじめや体罰について



【津田議員】いじめ、体罰に限らず教育現場全般として、起きてくるいろいろな問題をどうとらえているのか。また、人権擁護委員、学校評議員を学校問題解決のための委員として位置づける考えについて伺いたい。

【教育長】いろいろな問題が起きているが、その根底に何があると問われれば人間関係の希薄さ、それがこのようなことを引き出していると感じている。人の立場に

立って思いやる心を育てていくことが、問題を解決することである。時間はかかるが、根っこをきちんと育てていかなければ、解決していかない。これは子供や教師ばかりでなく、保護者、大人にもそのような心を育てていくことが大事かと感じている。次に、いろいろな問題が起こる前に、未然対策、未然防止としていろいろな連携会議が設置されている。もし、問題が発生したときは、まず地域でうちの学校を何とかしよう、地域の人が力を合わせる事が大事という事で、会議を開いたりして進めていただいている。それから、いじめや体罰によって自殺にまで至ってしまうような大きな問題ができた場合は、やはり専門家による第三者委員会を設けるべきと考える。大きな問題にならないよう、地域を挙げて、連携しながら諸問題に取り組んでいくことが肝要と考える。



新中核病院の本市単独での建設について



【榎戸議員】新中核病院について「竹島にこだわらない」との話が広がっているが、だれが言ったものか。

【審議監】県から、桜川市の参加を促すため提案された。

【榎戸議員】本市議会では竹島を主張し、桜川市議会がその場所を認めない状況では、今後の協議も決裂するおそれがある。また、協和中央病院とは民間と公立の統合であり、主導権は行政でとると考えていた。しかし、病院周辺に関連施設が多く、その場所を離れるわけにはいかないと主張している。今後、3者の意向が合致するのは非常に難しいのではないかと。

【市長】新中核病院建設に候補地は非常に重要だと考えている。協議のテーブルについて、竹島地区の優位性を強く主張していただき決定するのが良いと考えている。

【榎戸議員】国からの25億円の交付金は非常に魅力であるが、市民病院にはこの10年で70億円もの補てんをしている。本市単独で新中核病院建設ができるのではないかと。

【市長】市民病院を維持しての病

院建設になるので、その点をご理解いただきたい。市民病院は173床の許可ベッド数だが、健全経営には最低300床必要であり、3つの病院による再編統合を実現させたいと考えているので、ご理解いただきたい。



市民病院

道路整備について



【藤川議員】下館西中が通勤時間帯はかなりの危険である。車が一台とまると脇に自転車はとまれない。信号が短いので学校が目の前であっても渡れないという危険な箇所である。地権者の方に話をしたら市から話があれば話に乗っていただけるとのことだが、話を進めていただけるか伺いたい。

【土木部長】地権者の方がご理解いただいているという話はまだ

伺っていない。

【藤川議員】行政のほうから行かれることはないのですか、いかがですかということ。これはお願いにします。また、伊讚美地内のセーブオン交差点から西へ行く道も通勤時間帯にはかなり車が通るが、側溝にふたがない。片方には側溝にふたをしていただいたが、もう片方にはふたがない。どのようになっているか伺いたい。

【土木部長】今後早急に対処してまいりたい。

【藤川議員】下館西中学校西側の飯島の団地や大田郷の団地の道路幅が狭い。しかも側溝はふたがなく、たはできないものか伺いたい。

【土木部長】ご指摘の場所は、側溝でなくて昔のU字溝である。U字溝にふたをすると一段高くなってしまうので、オールカパー等で高さを調整して、ふたをするかたちをとりたいと思っております。ご理解願います。



下館西中通学路

議会日誌

- 1月**
 24日 茨城県市議会議長会定例会
 28日 全員協議会
 30日 神奈川県伊勢原市視察来市
- 2月**
 5日 県市議会議長会第2回議員研修会
 12日 第14回新中核病院建設推進特別委員会
 第8回市民アンケート調査特別委員会
 13日 第1回筑西広域市町村圏事務組合議会定例会
 15日 議会運営委員会
 第1回茨城県後期高齢者医療広域連合
 議会定例会
 第1回下妻地方広域事務組合議会定例会
 18日 第15回新中核病院建設推進特別委員会
 20日 第1回筑西市議会臨時会
 第9回市民アンケート調査特別委員会
 22日 議会運営委員会
 27日 全員協議会
 27日～3月13日
 第1回筑西市議会定例会
- 3月**
 11日 東日本大震災二周年追悼復興記念式典
 18日 広報委員会
- 4月**
 12日 市町村長・市町村議会議長会議
 18日 広報委員会
 22日 茨城県市議会議長会定例会
 25日～26日
 第79回関東市議会議長会定期総会

議員紹介

4月14日の市議會議員補欠選挙において、お二人が当選されました。



仁平正巳
海老ヶ島 884-1 (60歳)



内田哲男
乙 227-26 (68歳)

議会放映等の開始について

開かれた議会を指して、本会議の様子を放映、配信します。どうぞご覧ください。

【ケーブルテレビ放映】
 平成25年第2回定例会（6月）から放映を開始

- ・本会議のライブ中継
- ・本会議のダイジェスト版録画放映

【インターネット配信】
 市のホームページ「筑西市議会」において、平成25年第1回定例会（3月）から、本会議をインターネット動画で配信

編集後記



3月議会は市長選挙直前だったこともあり、傍聴者が特に多く来られました。

議会終了後には、市自治会連合会から、各支所とスピカ庁舎にも市議会放映テレビの設置を求める要望書が市と議会に提出されました。

議会でどんな審議が行われているかもっと知りたい、という声は大歓迎です。市の将来を決める予算や条例を決定する重要な場でありながら、「何をやっているのか見えない」と言われていることは何とかしなければなりません。われわれ広報委員もインターネット配信、ケーブルテレビ放映を提案し、開始の運びとなりま

須藤 茂議員が3月1日に議員辞職されました。

行政視察来市

本市の行財政調査のため、次の議員が来訪されました。

○1月30日
 神奈川県伊勢原市議会（5名）
 ▼学校施設整備事業について

あなたも傍聴してみませんか

次の定例会は

6月5日
 に開会の予定です。

議会の放映は、市役所本庁舎1階エントランスホールと4階議場前ホールでご覧になれます。

【広報委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 真次 洋行 |
| 副委員長 | 三浦 譲 |
| 委員 | 保坂 直樹 |
| 委員 | 稲川 新二 |
| 委員 | 大嶋 茂 |
| 委員 | 尾木 恵子 |
| 委員 | 堀江 健一 |
- 筑西市議会事務局
 筑西市下中山732-1
 ☎24-2111 (内線372)